

日本文学史上著名な人物の伝記と作品研究を纏めた、図書館必備の評伝集。

青梧堂 『日本文学者評伝全書』 (塩田良平・森本治吉 責任編輯) 版

日本文学者評伝集

全8巻

クレス出版

刊行にあたって

最近、知識を競う「テレビ番組」や、「江戸」、「映画」など専門知識の「検定」が流行っている。歴史上の著名な人物についての知識は、義務教育で覚えた程度ではいつの時代にもどのようなことをしたかわからない。より詳しく深く知るためには、「伝記」、「評伝」の類が大変便利である。昭和十六年十二月七日大東亜戦争勃発の前日、青梧堂の近藤雄教氏は、「宗祇」の著者となる伊地知鉄男氏に『日本文学者評伝全書』（塩田良平・森本治吉責任編輯）の計画を伝え、啓蒙的な内容にして欲しいと言った。壮大なスケールで、和歌、連歌、俳句のほか物語、日記等の作者を選び、広い視野で宗教者の最澄（伝教大師）、儒学者・政治家の新井白石、鎌倉幕府第三代將軍の源実朝なども加え、また「萬葉室歌人」、「平安女流歌人」、「明治女流作家」の巻も設け、古くは奈良時代から近代までの文学者を網羅しようとした。しかし、昭和十七、八年に約二十冊を出版、大伴家持、和泉式部、橘曙覧のほか西鶴、近松、近代の二葉亭四迷、鈴木三重吉、芥川龍之介等の続刊予定もあったが、戦争のためか理由は確定できないが頓挫してしまった。

執筆者には専門的な気鋭の学者があたり、出版されなかったが当時人気の作家川端康成「清少納言」、舟橋聖一「山東京伝」、佐藤春夫「上田秋成」なども名を連ねている。

内容は伝記と作品研究を柱としているが、特色として例えば「紫式部」（島津久基著）では平安時代の日本女性の生活美を闡明に述べ、「世阿弥」（阪口玄章著）は多数の作品を文学面より論じた上において日本芸術論ともなっており、「新井白石」（尾崎憲三著）の国語学上の業績を論じつつ政治家的面を加味して論じるなど、重厚な教養書となっている。

小社では『萬葉集歌人研究叢書』（青木周三ほか編・解説、全十巻、二〇〇四年刊）に「高橋虫麻呂」、「笠金村・高市黒人」、「萬葉室歌人」を収録している、それらを除いた十五点を今回全八巻に編集し、『日本文学者評伝集』として復刻するものである。

研究者の方のみならず、図書館で広くたくさんの方に利用していただければ幸いです。

第1巻

最澄（伝教大師）

堀 一郎著

山部赤人

武田 祐吉著

第2巻

在原業平・小野小町

井上 豊著

二条良基

福井 久蔵著

第3巻

紫式部

島津 久基著

道綱母

岡 一男著

第4巻

鴨長明

富倉徳次郎著

源実朝

上田 英夫著

第5巻

世阿弥

阪口 玄章著

宗 祇

伊地知鉄男著

第6巻

芭蕉

萩原 蘿月著

蕪村

暉峻 康隆著

第7巻

蜀山人

濱田義一郎著

新井白石

尾崎 憲三著

第8巻

明治女流作家

塩田 良平著

〔紫式部〕島津久基著

（六）紫式部の教育観

文藝の本質を謬りなく把握し、人生に於ける物語小説のもつ重大な価値と使命とを大膽に力説した紫式部が、それでゐて他面、文藝に對し小説の繙讀に對しては、教育的な立場からの十分な用意を以て臨むべきことを明言してゐる彼女の自覺には、又一段の驚きと推服を禁じ得ないのである。

同じ螢卷で源氏は、明石姫の教育について紫上に、

姫君の御前にて、この世馴れたる物語など、な讀み聞かせ給ひそ。みそか心 つきたるもの女などは、をかしとはあらねど、かゝる事世にはありけりと注意して、まだ精神的に成長してゐない子女に、戀愛小説など讀ませ聽かせる

二〇九

〔鴨長明〕富倉徳次郎著

六、方丈記を読む

——住ひの文學としての方丈記——

長明は發心集の巻五に家の見取圖を書く事を好む一人の男の事を書いてゐる。

「近き世の事にや」と云つてゐるから、長明と同時代にゐたにちがひない。その男は既に老年に及んでゐたが別に官途につくわけではなく、では世の中に未練はなく出家でもするのと思ふとさうでもなく、貧しくて「常に居所も無く」やぶられた古寺に寝起きしてゐたといふが、この男が朝夕熱中してする「わざ」といふのが人に紙反古を乞ひ集めて来て、それに終日差圖を書いて家を作るあらましをすることであるといふのである。

〔蕪村〕暉峻康隆著

第二章 蕪村の時代性

俳諧史の上に注いでゐた視線を轉じて、ひろく一般文化を展望すると、この俳諧中興の時代は、政治都市江戸を中心とする近世後期文學の勃興期であるのみならず、自然科学、國學、漢學、繪畫等、文化一般の興隆もしくは、變轉の時期であつた。

元祿を頂點とする前期上方文化の特質を要約すれば、學問（古典研究）や宗教（佛教）がそれぞれ分化せず、國民生活の向上といふ一つの目的の下に互ひに協力し合ひ、渾然たる融和の状態にあつたといつてよい。したがつて文化の美的結晶であるところの藝術は、決して人生と、宗教や道徳と無縁ではあり得なかつた。

二二〇

〔蜀山人〕濱田義一郎著

四 四方赤良時代下

16〔萬載狂歌集〕 明和末年に發生した江戸狂歌は安永を経て天明に入る頃には、廣い範圍にわたり、各階層の間に非常に流行してゐた。蓋し此時代人の要求嗜好に最も適合した或ものをもつてゐたからである。然るに狂歌の書物はこの間に殆んど發行されなかつた。菅竹浦氏の「狂歌書目集成」によると、わづかに天明二年に濱邊黒人の「初笑不琢玉」と、前項に述べた「江戸花海老」とがあるのみで、狂歌集といふ體裁のものは未だ嘗て出てゐない。これは川柳に於て、年々佳作を集めて「武玉川」「柳樽」「川傍柳」などが出たのとは全く事情を異にする。恐らく文學としての性格の差異に基くもので、狂歌はそもそも最初の「狂歌は時の興にてよむなるを、ことがましくつどひをなしてよむしれ者こそをこなれ」

日本文学者評伝集 全8巻

塩田良平・森本治吉 責任編輯

第1巻	最澄・山部赤人	定価 8,000円(税別)	ISBN978-4-87733-421-5
第2巻	在原業平・小野小町・二条良基	定価10,000円(税別)	ISBN978-4-87733-422-2
第3巻	紫式部・道綱母	定価10,000円(税別)	ISBN978-4-87733-423-9
第4巻	鴨長明・源実朝	定価10,000円(税別)	ISBN978-4-87733-424-6
第5巻	世阿弥・宗祇	定価10,000円(税別)	ISBN978-4-87733-425-3
第6巻	芭蕉・蕪村	定価12,000円(税別)	ISBN978-4-87733-426-0
第7巻	蜀山人・新井白石	定価12,000円(税別)	ISBN978-4-87733-427-7
第8巻	明治女流作家	定価 8,000円(税別)	ISBN978-4-87733-428-4

B 6判/上製函入/クロス装 揃定価80,000円(税別)

平成20年6月末日刊行 ISBN978-4-87733-429-1(セット) C3323

萬葉集歌人研究叢書 全10巻

青木周平、谷口雅博、城崎陽子、倉住薫 編・解説

1.	大伴旅人・大伴家持	佐佐木信綱	定価7,800円	ISBN4-87733-208-1
2.	旅人と憶良	土屋 文明	定価5,800円	ISBN4-87733-209-X
3.	柿本人麻呂	武田 祐吉	定価6,600円	ISBN4-87733-210-3
4.	人麿の世界	森本 治吉	定価7,200円	ISBN4-87733-211-1
5.	人麻呂抄	吉村 貞司	定価6,000円	ISBN4-87733-212-X
6.	高橋虫麻呂	森本 治吉	定価5,400円	ISBN4-87733-213-8
7.	笠金村・高市黒人	犬養孝・田辺幸雄	定価5,400円	ISBN4-87733-214-6
8.	山上憶良・山部赤人	谷 馨・森本治吉		
	憶良の悲劇	森本 治吉	定価6,800円	ISBN4-87733-215-4
9.	萬葉皇室歌人	森本 健吉		
	萬葉集作家の系列	五味 保義	定価8,800円	ISBN4-87733-216-2
10.	萬葉女人	樋口 清之	定価4,600円	ISBN4-87733-217-0
		揃定価64,400円(税別)	ISBN4-87733-207-3(セット)	

日本人物誌選集 全15巻

紀田順一郎 監修・解説

第1巻	明治人物評論、続明治人物評論	定価 8,500円(税別)	ISBN978-4-87733-376-8
第2巻	明治崎人伝、現代人物管見	定価14,000円(税別)	ISBN978-4-87733-377-5
第3巻	文士の側面裏面、文壇の人・舞台の人 漫談・思ひもよらぬ話		
		定価16,000円(税別)	ISBN978-4-87733-378-2
第4巻	日本老農伝	定価15,000円(税別)	ISBN978-4-87733-379-9
第5巻	役者芸風記	定価10,000円(税別)	ISBN978-4-87733-380-5
第6巻	近代美人伝	定価11,000円(税別)	ISBN978-4-87733-381-2
第7巻	日本の産業指導者	定価10,000円(税別)	ISBN978-4-87733-382-9
第8巻	異国遍路 死面列伝・旅芸人始末書、明治会見記		
		定価 9,500円(税別)	ISBN978-4-87733-383-6
	第一回全8巻 揃定価94,000円(税別)	ISBN978-4-87733-384-3(セット)	
第9巻	鳥飛兎走録、大正婦人立志伝	定価13,000円(税別)	ISBN978-4-87733-411-6
第10巻	当世 策士伝、奇物凡物	定価12,000円(税別)	ISBN978-4-87733-412-3
第11巻	人物研究	定価12,000円(税別)	ISBN978-4-87733-413-0
第12巻	文壇太平記、演芸風聞録	定価14,000円(税別)	ISBN978-4-87733-414-7
第13巻	学芸史上の人々、書国崎人伝	定価14,000円(税別)	ISBN978-4-87733-415-4
第14巻	近代 日本の科学者 一	定価12,000円(税別)	ISBN978-4-87733-416-1
第15巻	近代 日本の科学者 二	定価13,000円(税別)	ISBN978-4-87733-417-8
	第二回全7巻 揃定価90,000円(税別)	ISBN978-4-87733-418-5(セット)	

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町14-5 ヌロ一ナ日本橋

☎03-3808-1821 ☎03-3808-1822 <http://www.kress-jp.com/>



株式会社クレス出版

●書店名